

ち合わせ。二十四時前東京帰着。我ながら、動いている。体、大丈夫か。

十一月八日

十時M2M1ゼミ。十二時三〇分石山研ミーティング。これは久しぶりのスタッフミーティングであった。スタッフと早く呼びたいね。幾つかの用件を済ませ、十五時過新木場現場定例会。十七時三〇分、地下鉄その他を乗り継いで京王稲田堤、厚生会へ。近藤理事長、南雲建設社長と森の学校打合せ。建築家はクライアント次第で生きるし、又死ぬ事もあるのだが、マア、色々考えさせられる。二十二時会食修了。今、京王線で烏山に向けて走っている。

十一月九日

十八時磯崎アトリエ。鈴木博之氏と磯崎さんと、批評と理論の会のまとめを話す。二十一時修了。鈴木さんと六本木で食事。

十一月十日

十時過ののぞみで神戸へ。神戸芸工大講演会。深夜東京に戻る。

十一月十一日

終日、学務。十九時銀座で人事小委員会のメンバーと会食。建築学科は氷河期を迎えるな。

十一月十二日

六時三〇分起床。八時前帝国ホテルで気仙沼の白井賢志さんと朝食。相談。白井さんとは久しぶりに話し合う事が出来て本当に

十一月一日

十時ゼミ。十六時青山佐々木事務所。十九時J・ライター、李祖原と磯崎アトリエ。

十一月二日

十一時TOTO来室。十三時過新木場現場。十六時伊藤さん宅打合せ。

十一月四日

十五時シャープ来室。十七時三〇分GA二川親子とJ・ライター、李祖原と会う。その後、新宿でライター、李と会食。

十一月五日

雑事に明け暮れる。

十一月六日

九時小田急線喜多見高山邸現場。十一時京王線稲田堤星の子愛児園。近藤御夫妻と打ち合わせ、十三時修了。十五時製図講習会。二〇時迄。

十一月七日 日曜日

十二時家内の運転で伊豆松崎へ。十六時前大沢温泉ホテル。打

良かった。十時大学、卒論発表会。十九時過迄。モスクワの若松氏と話す。ミサワ・インターナショナルの三沢千代治さんと来週会う事を約す。二十二時三〇分世田谷村に戻る。昨日、家内がオレオレさぎに巻き込まれそうになったが、砂漠みたいな世間になっているな。油断もスキもあつたものではない。

十一月十三日 土曜日

九時過河野鉄骨来る。渡辺と共に調布の馬場さん宅。打合わせ。十二時過修了。馬場邸現場に寄り、十三時世田谷宗柳で昼食。石井を大学から呼び幸脇邸打合わせ、河野君に設備積算等依頼。十五時過世田谷村一階で打合わせ。十八時迄休む。今日は野村と夕食をするつもりだったが、世田谷村に来てもらつ事にする。十九時四〇分野村世田谷村に。二十二時迄会食。彼女も学生時代からすれば十数年の附合になる。良い素質を持っているのだから、一度爆発させなければいけない。人材の自発的自由を認めながら、それを育てようと欲する事の困難さよ。しかし、建築を作る事の面白さもさる事ながら、人間を育てる事の難しさ、複雑さの迷宮状の闇の深さを考える。

十一月十四日 日曜日

七時過起床。暗い天気の日曜日だ。今日は一日AO入試に附合わなくてはならない。八時四〇分学科会議室。九時創生入試打合わせ。ほぼ学科全員の教師が集まる。九時四十五分入試面接開始。昼食十五分をはさんで十六時迄。入試希望者は年々小粒になるが、何となく整ってきている気はする。何に対して整っているかは知らぬが。十八時過迄教室会議。建築学科は大氷河期に突入しつつあるのをどれだけの人間が厳しく認識しているか、少し疑問だな。

十八時四十分過只今笹塚京王線車中。

早稲田建築研究所構想を今夜中にまとめられるか。メディア建築研究所計画上海、モスクワ・ダーチャ開発計画の企画もまとめなくては。